

住民の利便性維持へ

【伊勢】鳥羽市志島の桃取地区にあるJA伊勢の委託店舗「けいきちや」が、8日から営業を始めた。2月末に閉店した同JAの「桃取経済店舗」を、JAに

代わり運営する。精米や日用品、培土、種苗などを取りそろえる他、葬儀相談や墓石、仏壇の注文なども受け付ける。また、JAバンクのATMも設置している。

閉店店舗JAに代わり運営

JA伊勢も支援

店舗を運営するのは、退職後、同店舗をオーブ斎藤啓吉さん（64）。斎ンさせた。営業日は毎週藤さんは3月に同JAを火曜と金曜の週2日。

「けいきちや」斎藤啓吉さん



精米を販売する斎藤さん⑥

同JAでは持続可能な経営基盤を確立・強化するため「3Cプログラム」を進めている。その一環として、生活店舗の集約を進めており、閉店後の店舗をJAに代わって運営してくれる人を地域から募集している。応募がなかった地域については、地域住民の利便性を維持するために移動購買車を順次運行しているが、同地区は離島のため移動購買車の運行が困難だ。

同地区出身の斎藤さんは、同JAを退職するタイミングで同店舗を運営しようと考え、店舗の開店に向けて同JAと協議を重ねてきた「けいきちや」では、これまで桃取経済店舗で取り扱っていた日用品や園芸用品などの仕入れ先を引き継ぐ。

同JAの担当者は「集約した店舗を運営していただける人がなかなか現れない中、店舗を引き受けてくれた。JAでも今後、できる限り店舗の運営を支援していきたい」と話す。